

社会資本整備審議会 道路分科会 令和元年度第1回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

令和元年12月5日（木）13:30～16:00

2. 場 所

広島合同庁舎2号館 6階 共用7号会議室

3. 出席者

<委員>

◎藤原 章正 ふじわら あきまさ 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

飯野 公央 いいの きみお 島根大学法文学部 准教授

内山 誠一 うちやま せいいち 中国経済連合会 専務理事

鈴木 春菜 すずき はるな 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

福田 京子 ふくだ きょうこ 地域づくりネットワーク 代表

敬称略、◎委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）
とっとりよおかみやづ とっとり ふくべ

山陰道（須子～田万川）
すこ たまがわ

国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田
おかやま こしんでん くらしき しんでん

5. 結論

- ・鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）について、事務局より提案された対応方針（案）は妥当とする。
- ・山陰道（須子～田万川）のうち、須子～小浜間について、事務局より提案された対応方針（案）は妥当とする。
- ・小浜～田万川間について、複数ルート帯（案）及び意見聴取を進めることを了承する。なお、各案で対策の方向性が異なることから、多様な観点での意見が想定される。意見のとりまとめにあたっては丁寧に行うこと。
- ・国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田について、複数の対策案及び意見聴取を進めることを了承する。

6. 委員からの主な意見

○鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）

- ・市街地における事業であることから、用地取得や工事において期間を要することが想定される。今後の詳細な検討に際しては、早期の効果発現の観点も考慮すること。
- ・景観への多様な意見など、ワークショップで得られた意見について、今後の検討に活かすこと。
- ・インターチェンジの設置間隔や構造（フル・ハーフの混在）など、効果や利用者への分かりやすさを勘案しながら、今後詳細な検討を進めること。

○山陰道（須子～田万川）

【須子～小浜】

- ・評価の前提となっている、道路整備による地域振興への寄与について、丁寧な説明が必要。

【小浜～田万川】

- ・山陰道としてのサービスレベルを満足しない現道対策を案のひとつとすることについて、比較評価の基準として、また、合意形成プロセスにおける多様な案のひとつとして提示するものと理解する。
- ・対策の方向性の異なる多様な案を提示しているため、今後の比較評価においては効果のほか、工期や交通規制、迂回路など、多様な観点での意見が想定される。意見のとりまとめにあたっては丁寧に行うこと。

○国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田

- ・広域移動の通過交通も多い道路であり、意見聴取にあたっては、郵送配付する地域の意見のほか、広域なドライバーなどの意見も聴取できる工夫が必要。
- ・アンケートの回答が世帯主の男性に偏る傾向がある。女性からの回答を増やす工夫が必要。
- ・バイパス沿道が開発され交通が増大し渋滞が発生している本路線において、今回の整備する道路の交通機能が低下することのないよう、例えば更なる沿道開発のあり方について地元自治体と調整すべきではないか。
- ・今回整備する道路の整備効果が最大限発現するよう、TDMなどのソフト対策をあわせて実施していくべき。
- ・沿線からの利便性の高い平面拡幅案（案1）と、速達性向上を求めた連続立体化案（案3）は優先する目的が異なる。今後、対策案の絞り込みを正確に行うために、意見聴取の内容や手法の工夫が必要。